1. 品目別輸出入量
2. 原料等の海外依存率

1. 品目別輸出入量

わが国の1972年の輸出量は7467万トン、輸入量は5億4799万トンで、大幅な輸入量超過である。

1972年の品目別輸出量はつぎのとおりである。

金属機械工業品は輸出量のうち62.3%（4652万トン）をしめ、その品目のなかで鉄鋼の割合が44.8%、輸送機械の割合が34.2%である。化学工業品は輸出量のうち19.8%（1482万トン）をしめ、その品目のなかで化学肥料の割合が33.0%、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品の割合が23.1%、化学薬品の割合が15.2%、セメントの割合が8.1%である。軽工業品は輸出量のうち7.0%（525万トン）をしめその品目のなかで、糸および紡績半製品とその他繊維工業品の合計した割合が61.5%である。雑工業品は輸出量のうち6.5%（482万トン）をしめ、その品目のなかで日用品の割合が58.7%、ゴム製品の割合が19.2%である。

また1972年の品目別輸入量はつぎのとおりである。

鉱産品は輸入量のうち75.8%（4億1557万トン）をしめ、その品目のなかで原油の割合が54.8%、鉄鉱石の割合が26.8%、石炭の割合が11.9%である。林産品は輸入量のうち9.9%（5431万トン）をしめ、その品目のなかで、原木の割合が83.1%である。化学工業品は輸入量のうち5.9%（3211万トン）をしめ、その品目のなかで重油と石油製品の合計した割合は88.5%である。農水産品は輸入量のうち5.2%（2867万トン）をしめ、その品目のなかで麦および米、雑穀、豆の合計した割合は68.2%である。

輸出量を相手地域別にみると、西アジア、アフリカ、大洋州、東南アジア、南北アメリカなど一次産品を豊富に持つ地域との貿易はいちじるしい輸入超過を示し、ヨーロッパ諸国やアジアの一部の国との貿易は輸出超過を示す。

輸入量のうちヨーロッパ、中央アメリカを除いた各地域で圧倒的比重をしめるのは鉱産品である。鉱産品として図示したなかでイラン、サウジアラビア、クウェート、アラブ首長国連邦、オーマンなどの西アジア諸国およびインドネシア、ブルネイからの膨大な輸入は原油である。オーストラリアからの鉱産品の輸入は、鉄鉱石と石炭がその大部分をしめ、そのほかにインド、ブラジルなどから鉄鉱石が輸入されている。ペルー、ブラジル、チリなど南アメリカからの輸入は大部分亜鉛鉱、マンガン鉱、クロム鉱、銅鉱などの非鉄金属であり、リベリア、アンゴラ、モザンビークなどアフリカ諸国からの輸入は鉄鉱石、ナイジェリアからの輸入は原油、南アフリカからはクロム鉱である。

林産品として図示したものの83%は原木であり、主としてアメリカ、インドネシア、ソビエト、マレーシア、フィリピンから輸入されている。

農産品の輸入はアメリカからのものが圧倒的に多く、オーストラリア、カナダからのものがこれにつづく。アメリカ、カナダからの輸入品は小麦をはじめとする食料、飼料用の穀物が大部分をしめる。輸入肉類の36.8%はオーストラリアからのものでそのうち53%は羊・やぎ肉である。そのほかの食料品の輸入は南アフリカ、エクアドル、タイ、台湾などからで、南アフリカからはとうもろこし、粗糖、エクアドルからはバナナ、タイからはとうもろこし、魚介類、台湾からはバナナ、粗糖の比率が高い。

総輸出量の62.3%をしめる金属機械工業品は、鉄鋼、自動車、電気機械の順に多い。鉄鋼の輸出はアメリカ26.8%、ついで中国7.9%、韓国5.9%、となっている。自動車の輸出はアメリカ43.5%、カナダ8.8%、オーストラリア4.5%の順である。

化学工業品の輸出量は中国、アメリカ、インドネシア、韓国、台湾の順に多い。中国むけ輸出の49.8%は化学肥料である。化学肥料はそのほかインドネシア等の東南アジア諸国に輸出される。有機化合物、人造プラスチックは主としてアメリカ、韓国、台湾に輸出される。

〔凡例と作図の要点〕

わが国と相手国との輸入量または輸出量が2,500トン未満のものは、それぞれについて記号の表示を省略した。

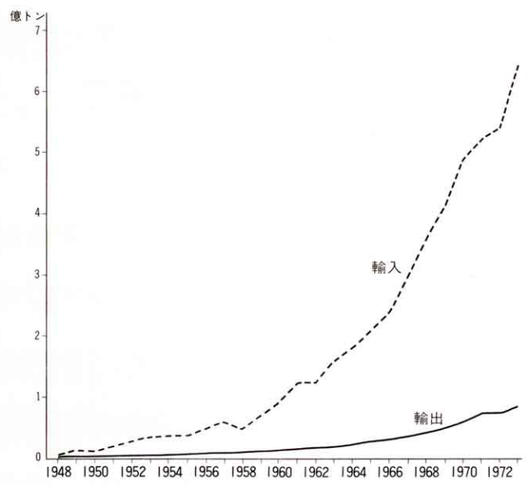
輸出入量は原則としてフレート・トンによって表示している。すなわち容積は1.113 m³、重量は1,000 kgをもって1トンとし重量または容積のいずれか大きな方で計算したものである。

品目分類は港湾統計年報の分類にしたがった。

〔資料〕

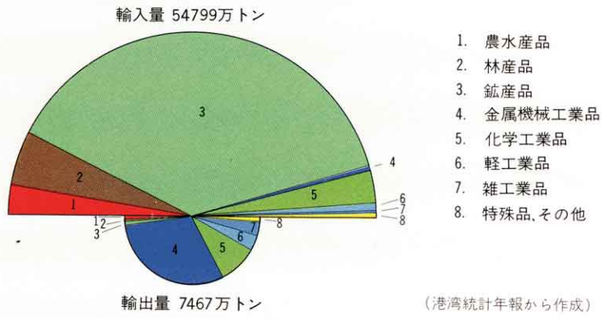
1．運輸省，昭和23年～48年港湾統計年報
2．東京、横浜、神戸、大阪、名古屋、門司、函館、および沖縄地区各税関，昭和48年12月外国貿易月報
3．大蔵省，昭和48年外国貿易概況

輸出入量の推移



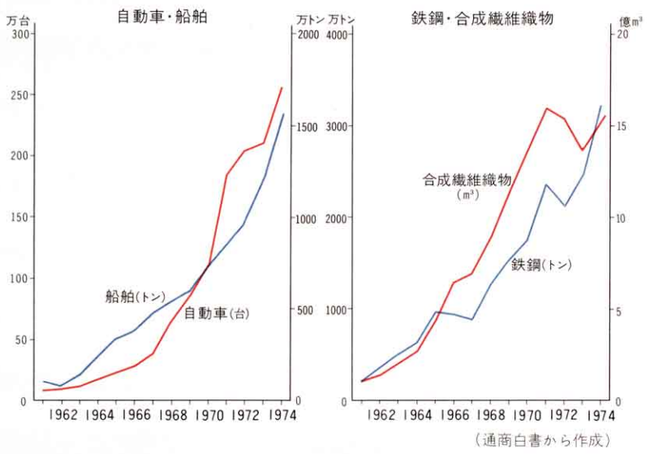
（港湾統計年報から作成）

日本の輸出入量（1972）



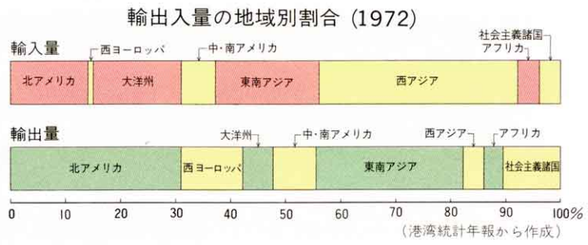
（港湾統計年報から作成）

輸出量の推移



（通商白書から作成）

輸出入量の地域別割合（1972）



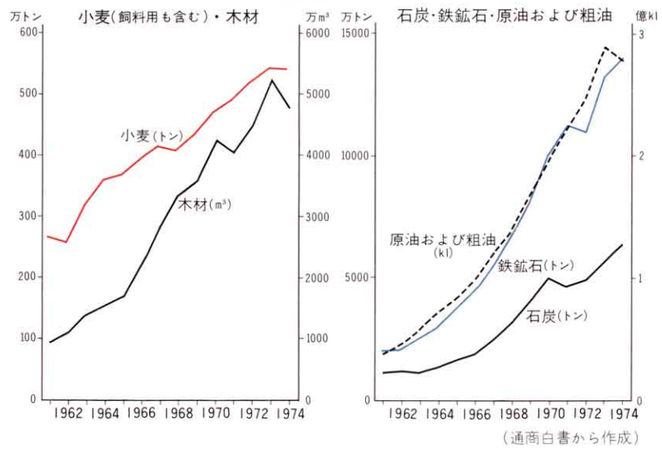
（港湾統計年報から作成）

輸出入量の品目分類内訳表

（内訳は港湾統計の品目分類を要約）

品目名	内訳
農水産品	麦、米、雑穀、豆、野菜、果物、綿花、羊毛、その他の農畜水産品
林産品	原木、その他の林産品
鉱産品	石炭、鉄鉱石、原油、原塩、その他の鉱産品
金属機械工業品	鉄鋼、輸送機械、その他の金属、機械
化学工業品	重油、石油製品、化学薬品、化学肥料、その他の化学工業品
軽工業品	紙パルプ、繊維工業品、砂糖、その他の食料工業品
雑工業品	日用品、木製品、その他の製造工業品
特殊品その他	金属くず、動植物性製造飼肥料、その他

輸入量の推移



（通商白書から作成）

2. 原料等の海外依存率

わが国は原料等の海外依存率が非常に高く、原油、鉄鉱石、ボーキサイト、錫、ニッケル、マンガン、羊毛、綿花、小麦、とうもろこし、大豆等の輸入依存率はいずれも90%をこえ、しかも輸入量は1960年代から1970年代を通じて上昇傾向を示している。

一次産品のおもな輸入相手国は食料品がアメリカ、鉱物性燃料が西アジアの各国、その他の原料がアメリカ、オーストラリア、カナダおよび東南アジアの各国である。

わが国の一次エネルギーの供給量は1960年から1970年の間に約3.5倍に増大し、その増加分の大部分を石油でまかなった。その結果一次エネルギーにしめる石油の割合は1960年の38.5%から1970年の71.5%に高まった。石炭の供給量は1960年から1970年の間に約1.6倍になったが、その間に国内炭と輸入炭との供給比率は1960年代の国内石炭産業の縮少の結果、国内炭83.1%から46.7%に、輸入炭は16.9%から59.3%になった。1973年の石炭の輸入量の91.2%はオーストラリア、アメリカおよびカナダの3国から供給された。

アメリカおよびオーストラリアは、わが国にたいする一次産品の輸出額で10以上の品目が3位以内であり、カナダは8品目、インドネシアは6品目が3位以内となっている。

わが国に原料を輸出する国々のうち、輸出額の50%以上をしめる品目を5品目数える国がオーストラリア、インドネシア、同様に3品目がカナダ、インド、2品目がアメリカ、マレーシア、中国である。

〔凡例と作図の要点〕

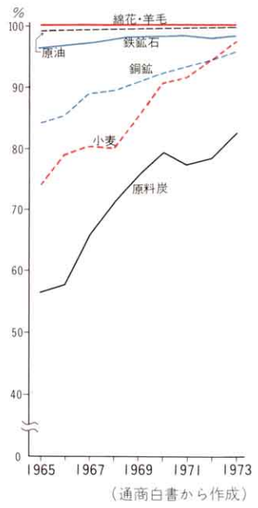
海外依存率は生産量と輸入量を加えたものにたいする輸入量の割合とし通商産業省の試算した率を使用した。

本図に採用した品目は、海外依存率が高く、その数量、金額ともに大きなものから重要度も考慮して選んだものである。また、依存率の表示にあたっては、国別の依存率が0.3%未満のものは省略した。

〔資料〕

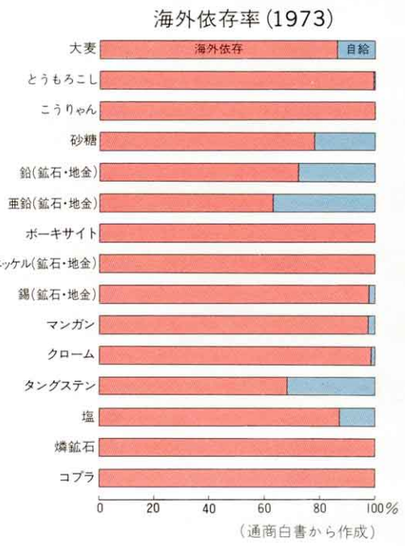
1．通商産業省，昭和46年～50年通商白書
2．運輸省，昭和32年～48年港湾統計年報
3．通商産業省，昭和49年度版総合エネルギー統計

依存率の推移



（通商白書から作成）

海外依存率（1973）

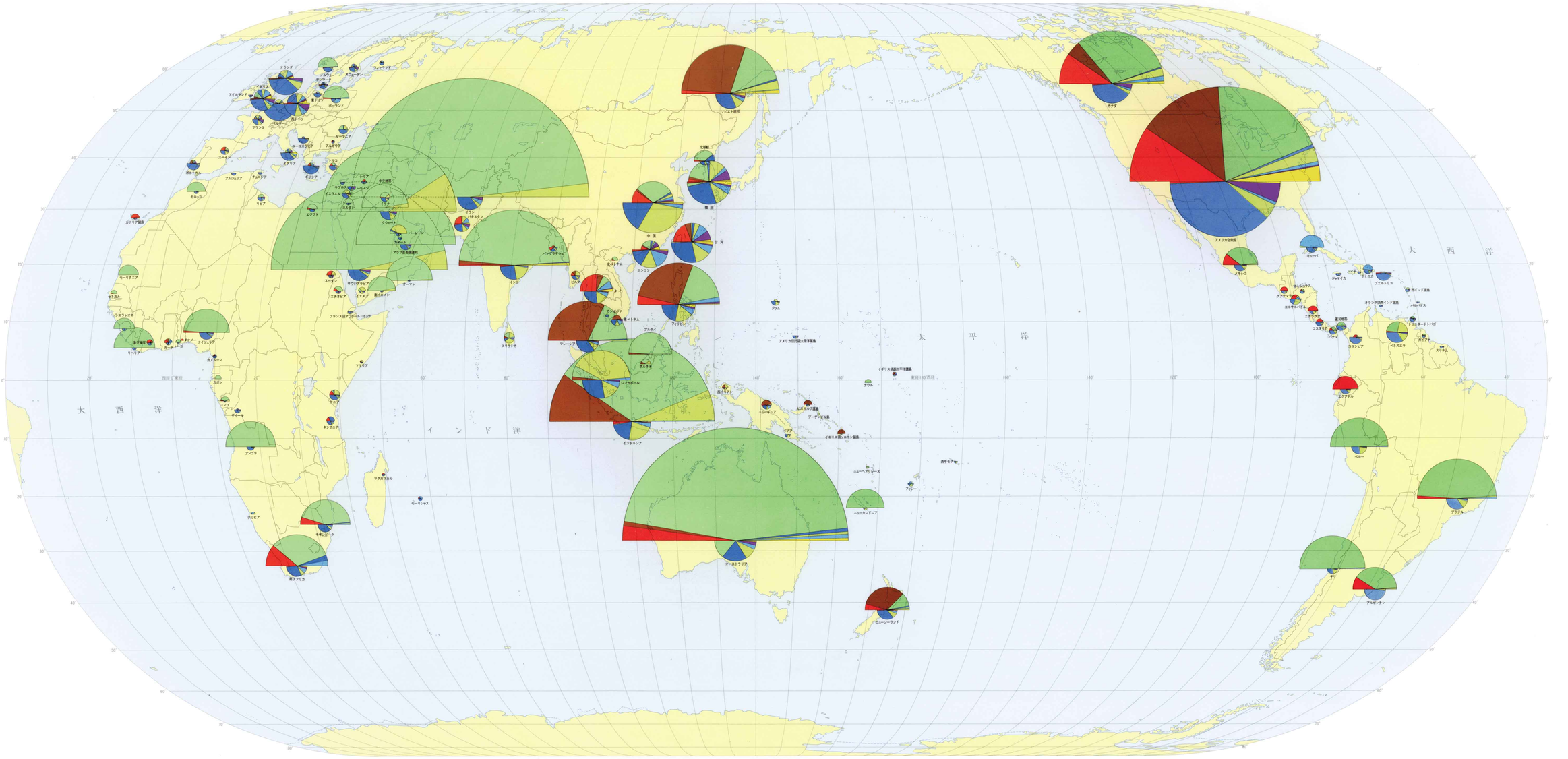


（通商白書から作成）

59.1

品目別輸出入量

(1972)



輸出入量

5,000 万トン
2,000
1,000
500
200
50
20

輸出または輸入量が1万トン未満は省略

日本の輸入量

日本の輸出量

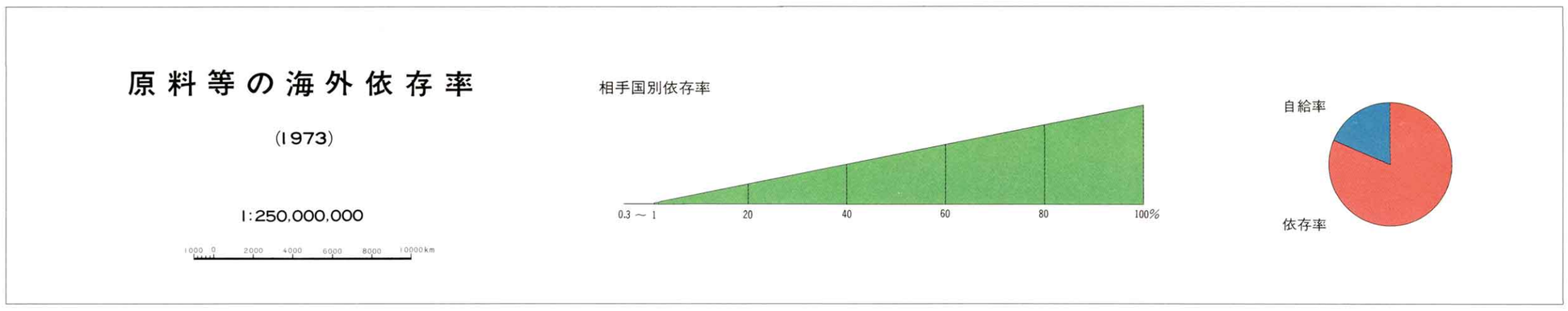
品目

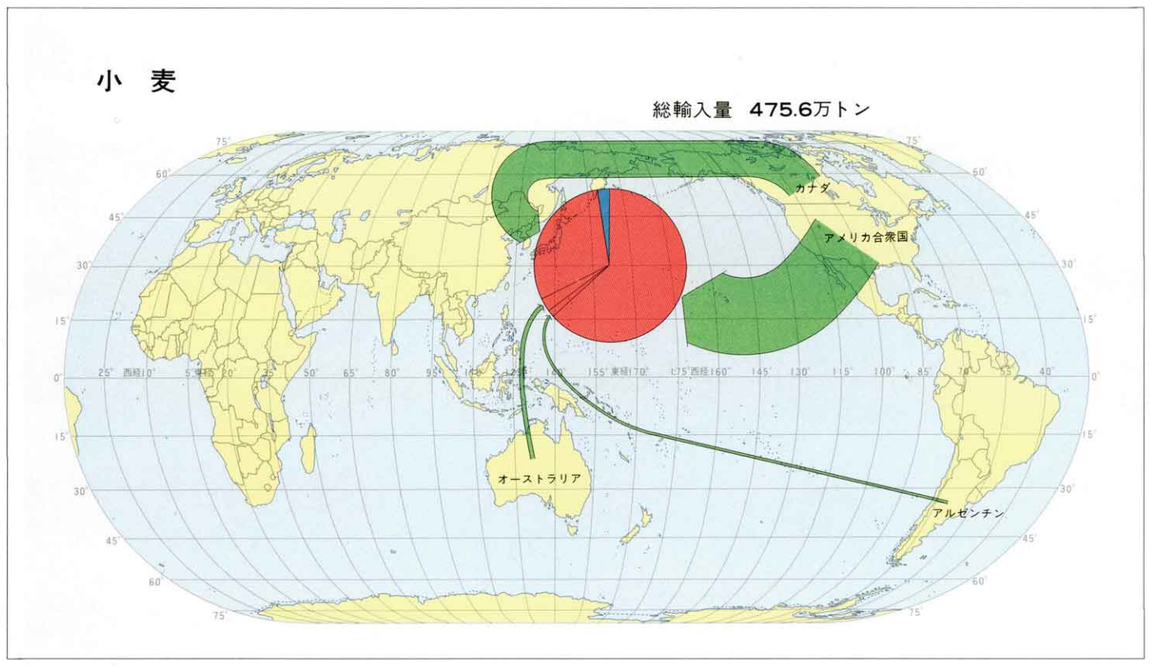
- 農水産品
- 林産品
- 鉱産品
- 金属機械工業品
- 化学工業品
- 軽工業品
- 雑工業品
- 特殊品その他

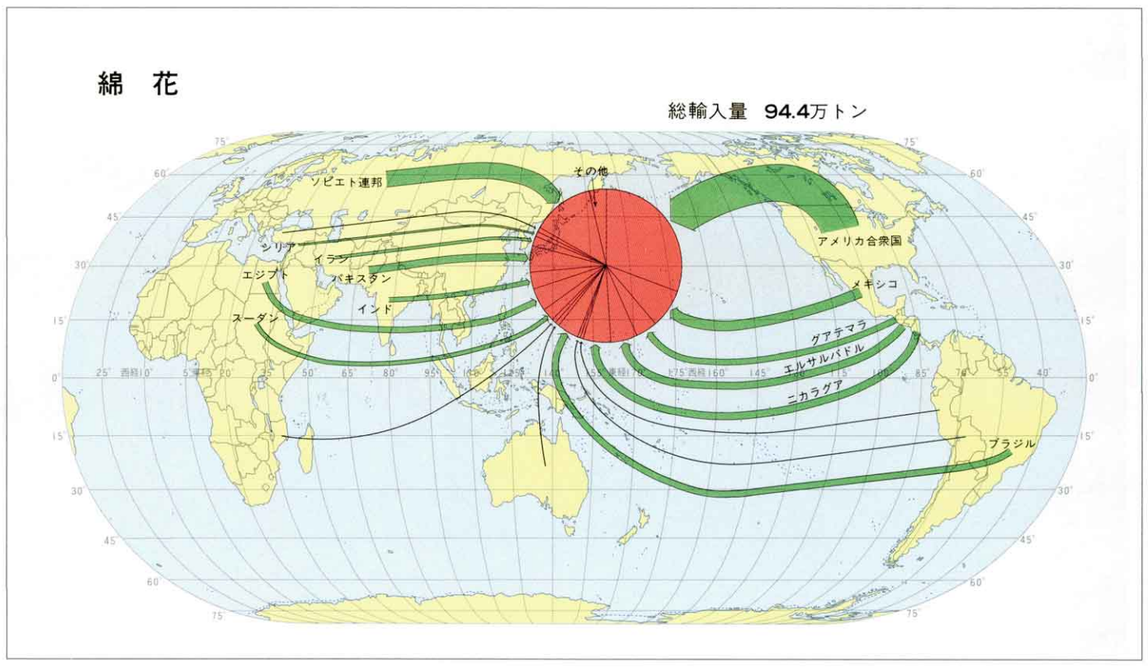
日本の総輸入量 5億4799万トン
日本の総輸出量 7467万トン

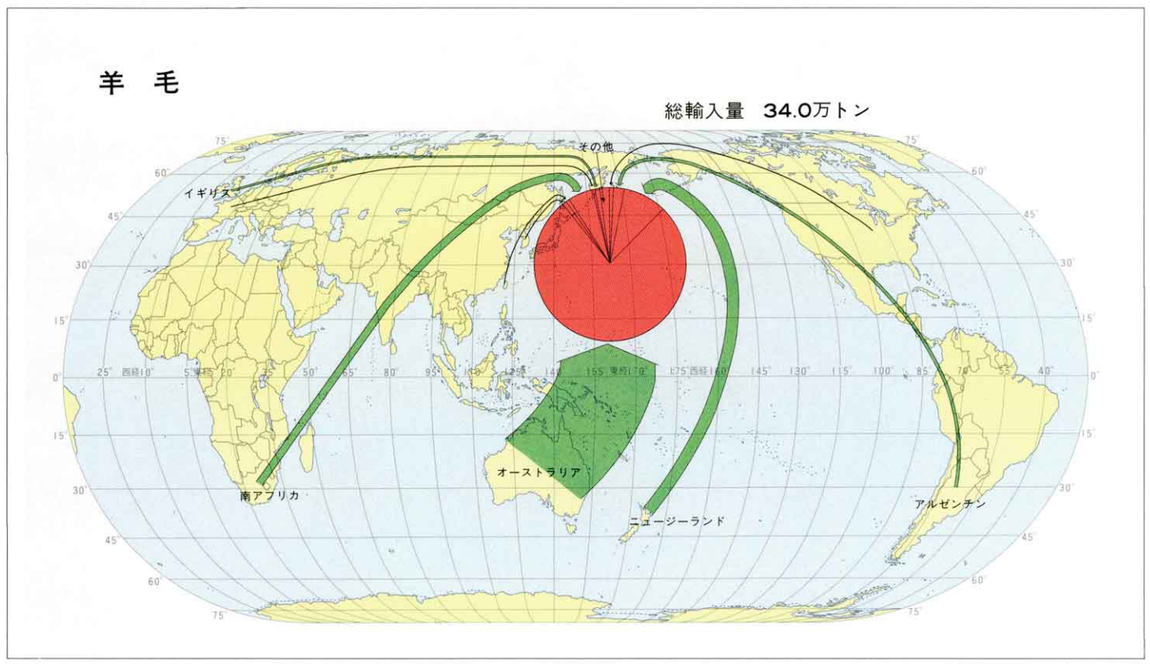
1:55,000,000

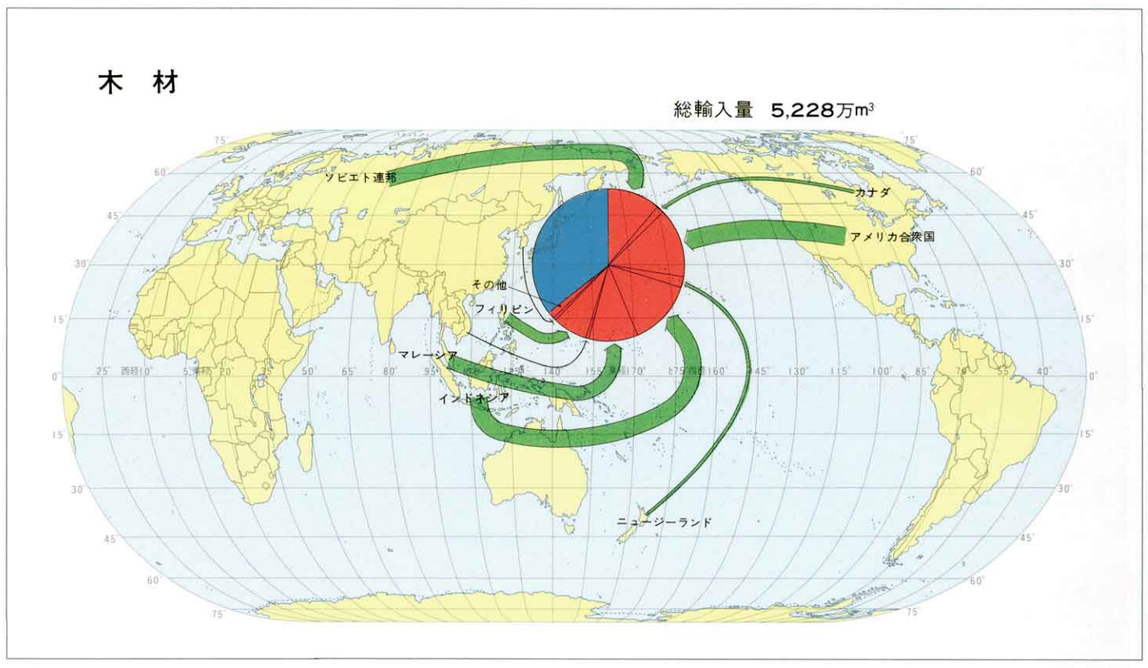
59.2

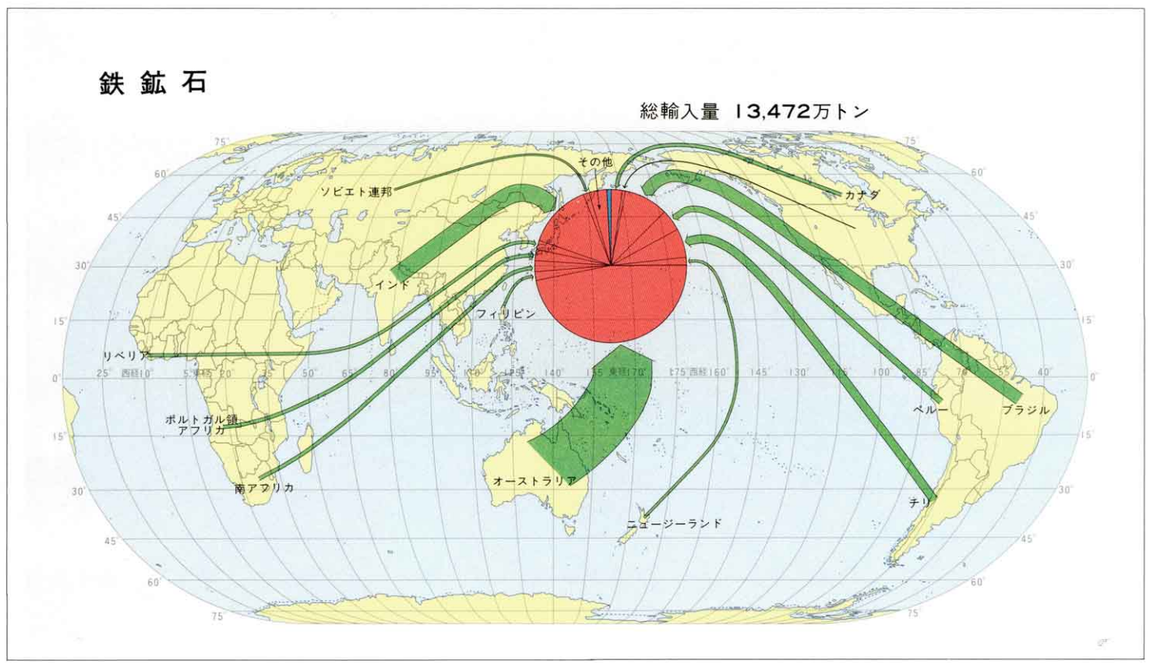

原料等の海外依存率
(1973)
1:250,000,000
相手国別依存率
0.3 ～ 1
20
40
60
80
100%
自給率
依存率

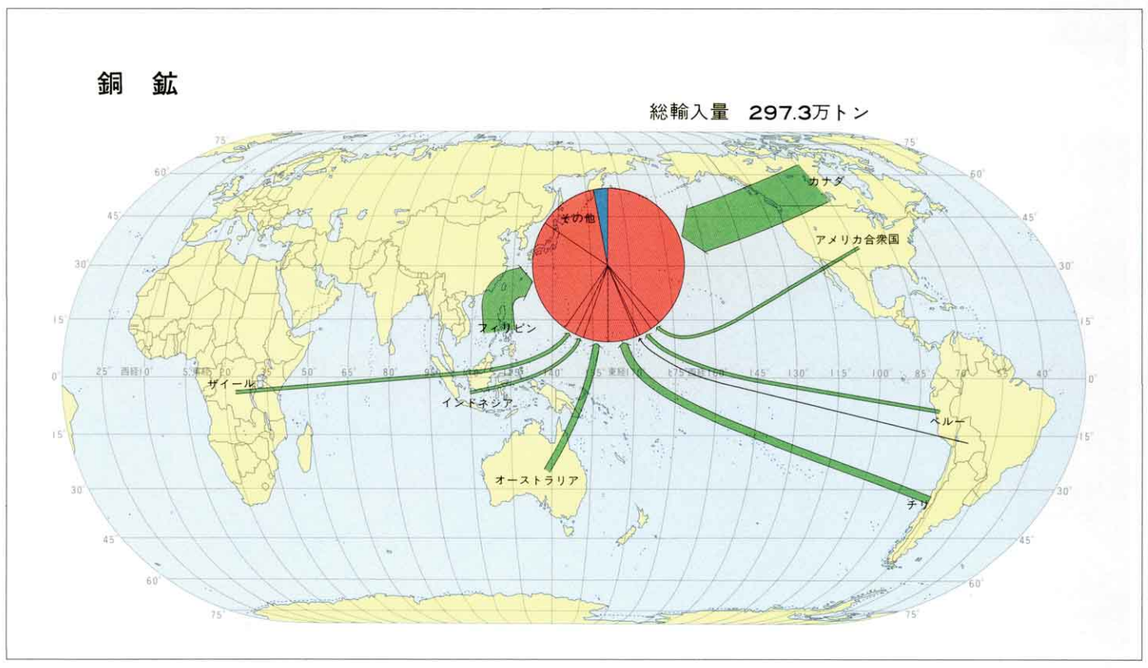

小 麦
総輸入量 475.6万トン
カナダ
アメリカ合衆国
オーストラリア
アルゼンチン

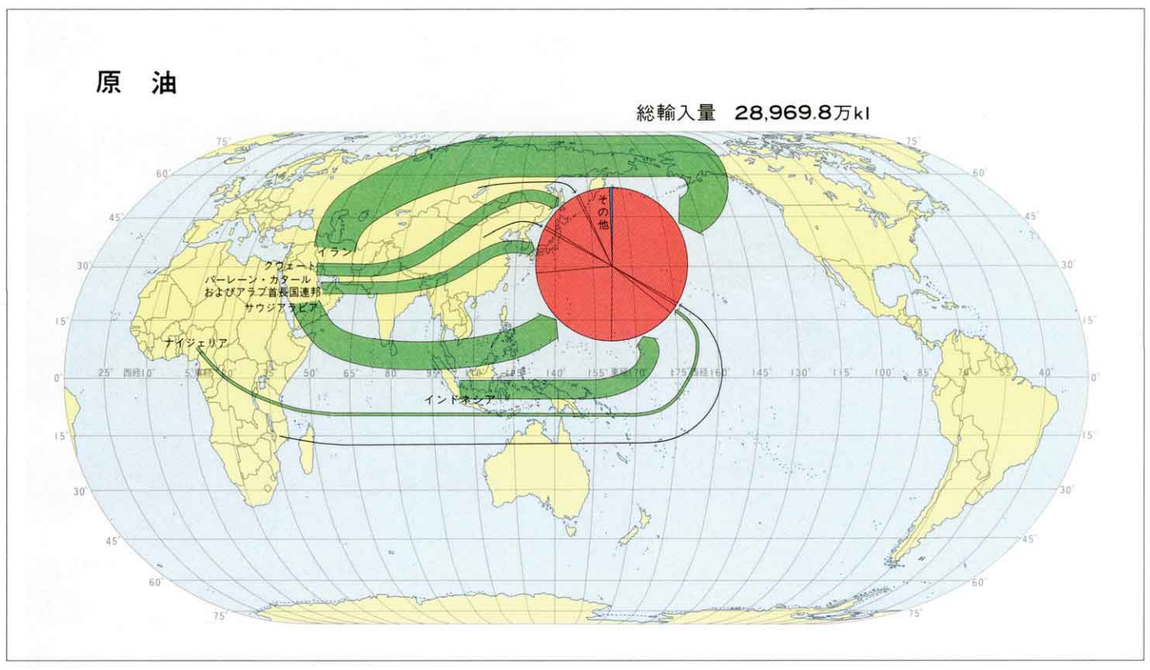

綿 花
総輸入量 94.4万トン
その他
ソビエト連邦
シリア
イラン
エジプト
パキスタン
インド
スーダン
アメリカ合衆国
メキシコ
グアテマラ
エルサルバドル
ニカラグア
ブラジル

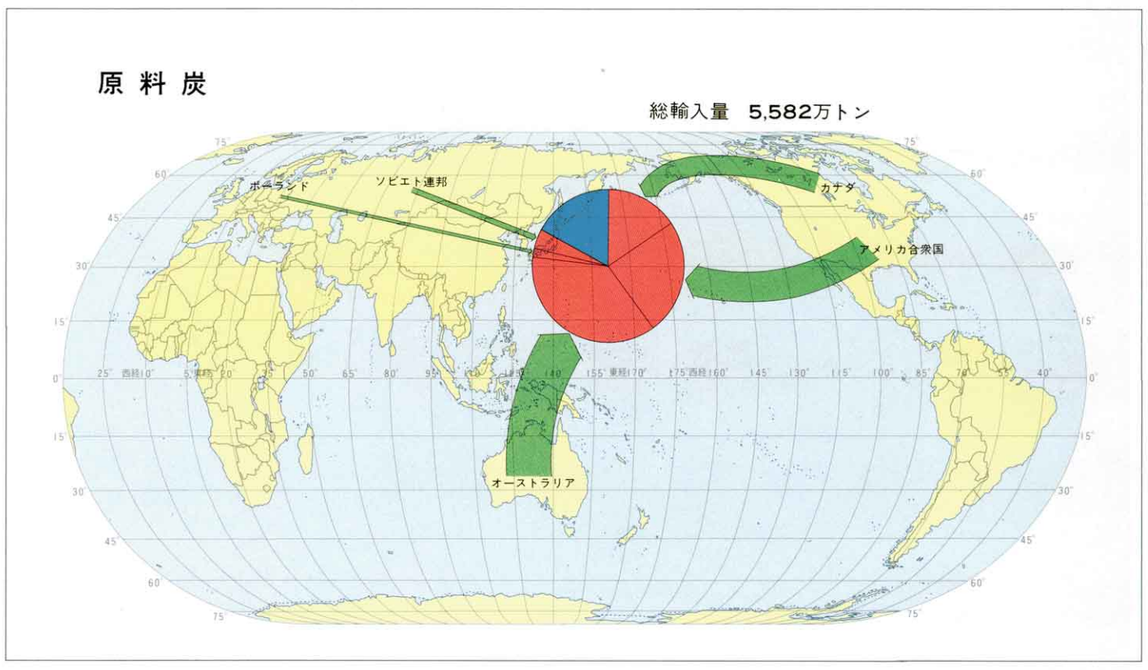

羊 毛
総輸入量 34.0万トン
その他
イギリス
南アフリカ
オーストラリア
ニュージーランド
アルゼンチン


木 材
総輸入量 5,228万m³
ソビエト連邦
カナダ
アメリカ合衆国
その他
フィリピン
マレーシア
インドネシア
ニュージーランド


鉄 鉱 石
総輸入量 13,472万トン
その他
ソビエト連邦
カナダ
インド
フィリピン
リベリア
ポルトガル領アフリカ
南アフリカ
オーストラリア
ニュージーランド
ペルー
ブラジル
チリ


銅 鉱
総輸入量 297.3万トン
カナダ
その他
アメリカ合衆国
フィリピン
ザイール
インドネシア
オーストラリア
ペルー
チリ


原 油
総輸入量 28,969.8万kl
その他
イラン
クウェート
バーレーン・カタール
およびアラブ首長国連邦
サウジアラビア
ナイジェリア
インドネシア


原 料 炭
総輸入量 5,582万トン
ポーランド
ソビエト連邦
カナダ
アメリカ合衆国
オーストラリア